

○ 令和6年度 九州地区漁港漁場協議会 開催報告

令和6年度九州地区漁港漁場協議会が令和6年7月4日（木）、対馬市の「対馬グランドホテル」において、九州・沖縄8県の漁港漁場協会の代表者及び来賓など34名が出席して開催されました。

冒頭、幹事県協会である（一社）長崎県漁港漁場協会の比田勝尚喜会長（対馬市長）の挨拶に続いて、田中郁也水産庁漁港漁場整備部長、高吉晋吾（公社）全国漁港漁場協会会長、吉田誠長崎県水産部長（代読：松田竜太長崎県水産部政策監）が来賓の挨拶を述べられました。



※ 開会挨拶：比田勝会長（左）、来賓挨拶：田中水産庁漁港漁場整備部長（右）

議事に入り、「第73回全国漁港漁場大会への提案事項について」は、輸出促進に向けた漁港施設機能の強化と養殖生産拠点の形成による水産業の成長産業化促進を含め提出された全6提案事項について、九州地区8県の共同提案として提出することが承認されました。

次期開催県については、熊本県で開催することを決定し、協議会を終了しました。



※ 開催地元の美津島町高浜漁協から大漁旗による歓迎

協議会終了後、田中部長による「地方における海業の促進について」、（有）丸徳水産犬束ゆかり専務による「女性で輝く対馬の海」、上対馬町漁協青壮年部築城慎一氏による「対馬あなごで島おこし」の講演が行われ、盛会のうちに

終了しました。

翌5日には、対馬市のまぐろ養殖の拠点である尾崎漁港を視察し、美津島町漁業協同組合宮崎組合長及び対馬市担当職員から概要説明を受け、一連の協議会行事を終えました。

【提案一覧】

1. 輸出促進に向けた漁港施設機能の強化と養殖生産拠点の形成による水産業の成長産業化促進
2. 海洋等自然環境の変化に適応し、生産力を維持・回復させるための総合的な漁場整備と技術開発の推進
3. 頻発化・激甚化する災害リスクへの対応力と早期復旧支援策の強化
4. 地域資源の活用と多様な人材の活躍する海業振興による漁村地域の持続的発展
5. 脱炭素化社会の創出など環境変化に対応した取組推進と水域環境保全対策の強化



尾崎漁港内のマグロ養殖漁場視察（宮崎美津島町漁協長から概要説明）



犬束ゆかり氏、築城慎一氏講演からのスナップ